

### 志度支部の紹介

支会長 石原光久

旧志度町文化協会は、郷土文化の発展と文化水準の向上推進、そして町内の文化団体の連絡および協調をはかる目的で、昭和五十八年五月に発足しました。当初三十九団体でスタートした協会も、現在五十六団体にふくらみ、活発な活動を行っているところだ。

平成十四年十月に、旧五町の文化協会は合併をし「さぬき市文化協会」が誕生しましたので、私達の協会は「志度支部」として活動することになりました。しかしながら、合併をしたので「さぬき市文化協会」のもとに集結し、各支部と連携を図りながら、それぞれが充実、発展していかなければならないでしょう。

将来的には、支部制の意味がおそらく論議されるのではないのでしょうか。

志度支部の主な事業には、五月の総会をはじめ随時、役員会がひらかれています。そして研修会、および会報「志度の文化」の編集委員会、さらには、さぬき市民文化祭志度支部祭開催などです。その上に、本部としての「さぬき市文化協会」開催行

事や、会合への参加があるので

昨年、はじめての役員研修を実施し、岡山県の高梁市文化協会を訪ねました。設立五十年という文化協会の活動は、まさに自主運営そのもので、年会費千円を取めた会員それぞれが、事務局をはじめ活発な活動、運営をおこなっていました。その活動状況を知る根拠として「文化交流館」や「総合文化会館」という、充実した施設を持っていることで、あらためて、それらの必要性を思ったことだ。

ちなみに本年度は、一般会員参加の一日研修を予定しており、交流先として直島文化協会にお願いをしています。会報「志度の文化」については昨年、第十七号を発行、志度地区内全戸配布という形をつらぬいています。活動状況などを、住民のみならずまに広く知っていただくことで、活性化につながっていますし、今では「志度支部」の象徴として定着しています。本年度につきましてもきびしい財源を節約し、さらには印刷費を削減するなどして発行の予定です。

また、最大の行事、さぬき市民文化祭「志度支部祭」につきましても、合併後の補助金削減や人的配置の減少のなか、多くのみなさまのご協力で第三十二回を無事終わることができました。文化協会発足時より、文化協会が中心となった実行委員会を組織し、手づくりの文化祭と

### さぬき市民文化祭志度支部祭を振り返って

第二回さぬき市民文化祭第三十二回志度支部祭は、平成十五年十一月八日から十一月九日の二日間志度構造改善センター等で開催しました。

合併二年目を迎える今回の文化祭でも旧町との交流事業として旧寒川町及び旧津田町の各文化祭に参加させて頂き作品の展示及び芸能のお披露目することで地域間の交流と親睦を深めることができました。



音楽祭(ホール合唱団)

して定着していますが、今後、運営方法や開催内容についての変更が生じてくることも、合併という、できごとがあったわけですし、ひいては世界、あるいはわが国の(時)のながれとしてやむを得ないことも知れませぬ。



した。

作品展は会場を二箇所に分け、第一会場は志度構造改善センターに美術工芸部門・生活文化部門・幼児、児童、生徒部門・一般作品部門の作品を限られた展示場所を有効に使い、訪れた多くの人々の目を惹きつけることができました。第二会場は志度社会福祉センターに生活文化部門として華道短歌・川柳の作品を展示し各会場を通

### 生活文化部門

家庭生活分野の活動報告 真鍋 忠

家庭生活分野は、料理、編物、パン、手芸、着付け、朗読、生活研究、手話などの十七グループがあり、各地域の公民館活動で日々精進しております。今年度の交流活動として十月五日、ツインバルながおで開催された第一回さぬき市健康福祉まつりで、手話グループによる手話コースで親睦と融和をはかり、楽しい一日を過ごしました。また編物、手芸、パン教室グループは十二月十六日から二十八日まで「21世紀館さんがわ」で交流展示会を開催し、地域間の交流、親睦としべルの高揚をはかり、豪華な展示会となりました。

### 園芸盆栽分野の活動

明石正美

緑化推進と文化の発展に寄与するため作品展を開催した。

- (1) 菊花展示会
十月二十五日より
十一月十四日(長尾500点)
十一月十五日(大川300点)
まで長尾寺及び大川みろく公園で開催しお遍路さん、一般の



展示会場(花もの、山野草等)

方が多数参観され盛況でした。(2) さぬき市園芸盆栽展示会
十一月二十九日～三十日
大川公民館ホールにおいて、さぬき市五町による初めての作品展展示会を開催した。主品は、さつき、中小盆栽花もの仕立、山野草等二〇点余と盛り沢山で皆さんに喜ばれました。

### 茶華香道分野の活動

中川一美

市文化祭志度支部祭に生け花を出品するのを毎年楽しみにしている今年はこの花器に花を生けようかと、あれこれ考えるのも楽しみのひとつである。14年度から作品の展示場所が整備されたことにより、会場の中央に大作を生けることになった。

今年は竹を使って山の景色を表現しようと、池内先生や山下さんとデザインを練り、材料も大作となると女手だけでは手に負えないので夫たちに応援を頼み六人がかりで準備した。



生ける時も設営は大工さんをお願いし、また夫たちの応援があり、イメージした作品の完成をみたのだが「有難う」と口に出して言うのは照れくさくて、言わずじまいである。

だがいつも何かあると黙って協力してくれる夫たちに心から感謝している。

### 棋道分野の報告

木村千秋

平成十五年度棋道部門の活動報告をします。

棋道部門は、囲碁と将棋に分かれて活動をしています。本年度は囲碁を中心とした活動報告をします。

囲碁の活動の特筆すべきことは、本年度で第三回の「さぬき囲碁まつり」の開催です。

さぬき市に合併する前の年より、合併後は住民が仲良くなるのが第一だと考えました。そのためには、趣味を通じて親睦を図ることが早道だと考えて、合併する五町の囲碁同好会が一



第三回さぬき市囲碁まつり

### 娯楽分野の活動

山瀬邦生

文化協会、娯楽部の一員としてさぬきインターネットクラブは地域の情報化の推進と会員相互のパソコン技能の向上と親睦を目的に発足して以来、会員もさぬき市全域から入会され、一緒に活動しています。

パソコンは生活の一部として定着してきている昨今、一人でも多くの人が、パソコンに親しむための環境づくりとしてパソコン入門教室を開いています。また、子供たちのための土曜いきいきスクールも好評で、子供たちの自由な発想を大切にしています。

新年度は娯楽部全体のホームページを立ち上げ、情報発信していきたいと、考えていますので、皆さんのご支援、ご協力をお願い致します。

